

「エコテックス(CSM[®]-2000) 標準研究フォーラム」

ニュース 20

発行：「エコテックス(CSM[®]-2000)標準研究フォーラム」 広報委員会

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階

TEL 03(3504)9800 FAX 03(5157)3180

E-mail eco-texj@k9.dion.ne.jp

HP: <http://www.eco-texj.co.jp>

2005年

4月25日発行

4月8日(金)東京都江戸東京博物館(両国)にて開催いたしました、「第3回コンプライアンス国際セミナー2005」には、会員さま及び会員さまよりご紹介いただいた多数の方々にご参加頂き、盛会のうちに無事終了することができました。

今回のセミナーは、第1部基調講演と第2部事例発表の2部構成で行なわれました。第1部の基調講演では、南アフリカ共和国駐日特命全権大使 Dr.BS Ngubane 氏、3-P Consorutium CEOWillie Beuth 氏、TUV Rheinland アジアグループ取締役副社長 Kurt k Heinz 氏・マネジメントシステム部 Manfred Brinkmann 氏より、世界規模で、サプライチェーンを含めた品質、環境、社会的責任を包含した経営システム即ち、「持続可能な経営」の構築の重要性、更に、消費者の関心が単に、品質・価格から「どの様に作られたか」に移行しCSRの対応が悪いと商品ボイコット運動などに発展する危険性が高いことを講演していただきました。

第2部の事例発表では、イオン株式会社環境社会貢献部C o C 事務局長古澤準一氏、株式会社ダイドーリミテッド管理本部広報サービスセンター・センター長松岡信行氏より、C o C, CSM-2000と取り組んだ理由及び認証に到る経過を講演していただきました。そのなかで、「第三者機関による認定であり公正である」、「認証を得る過程でリスク管理が構築される」、「価値観の共通化が図られる」「商売にも繋がっている」等の評価を講演していただきました。

講師の方々、セミナー委員の方々をはじめ、皆様のご協力の賜物と心より御礼申し上げます。

事務局は、セミナー委員の方々始め皆様のご協力を得て、来年の「第四回コンプライアンス国際セミナー」に向けて有意義な企画を練って参りたいと考えておりますので引き続きご支援ご協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

※ 当日の講師の方々のお写真を次ページに掲載させていただきました。

3月4日(金曜日)に開催いたしました、第三回理事会・第三回通常総会において、決めていただきました本年度の「エコテックス(CSM[®]-2000)標準研究フォーラム」の事業計画に基づき、

第17回標準研究フォーラムを 5月20日(金) 14時より開催させていただきます。

今回は、「CSM[®]-2000」New Ver 2.1「経営システム管理」の解説と質疑応答を中心にフォーラムを進めさせていただきます。

今回のテーマは、品質・環境・社会的責任を包括した企業の総合的経営システムの構築を目的としたものです。御社の益々のご発展に寄与させて頂ければと考えております。

併せて、第17回標準研究フォーラム当日（5月20日金曜日）、12時より下記の委員会の開催をお願いいたします。

☆ 研究評価委員会

議案

- ① 会員を対象に、フォーラムへの関わり方、CSM2000の理解、会員企業内への反映セミナーに対する要望などについて、ヒヤリングとアンケート調査を検討
- ② ミニマム要求事項の追加事項を各企業の立場で検討

☆ 国際対応委員会

議案

- ① サプライチェーンにおけるコンプライアンスの先進地域（ドイツを中心としたEU）の視察団派遣計画案検討

ご多忙中とは思いますが、5月6日（金曜日）までにご出席いただける方のお名前を事務局まで、ご連絡下さい。

尚、研究評価委員会委員、国際対応委員会委員以外の方々からも、今回の委員会のテーマに沿ったご意見を頂戴し、委員会へ提案させていただきたいと考えております。

ご協力をお願い申し上げます。

「第3回コンプライアンス国際セミナー2005」講師



Dr.BS Ngubane 氏



Willie Beuth 氏



Kurt k Heinz 氏



Manfred Brinkmann 氏



古澤準一氏



松岡信行氏



岡本義行会長



近藤繁樹事務局長